

科目名	国語	英語科目名	Japanese	
開講年度・学期	平成28年度通年	対象学科・専攻・学年	電気電子創造工学科 4年(LR)	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	1単位	単位種類	履修単位	
担当教員	田中 仁	居室(もしくは所属)	テクノ棟3階	
電話	内線170	E-mail	jinn-tanaka@小山高専ドメイン	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準	
	1 日本の伝統的な文学・文化に親しみ、思考や感性に共感できる。	②	B	g
	2 日本古典文学史の基礎的な事項について説明することができる。	①	B	g
	3 古典作品に対して現代的視点から多面的に考察することができる。	②	D	a
4 発表やレポートにおいて、聞き手(読み手)を意識しながら自らの考えを論理的に表現することができる。	⑥	E	f	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
・発表、小論文(レポート)、提出物、授業への取り組みの積極性等によって総合的に評価する。				
評価方法				
・発表40%程度、小論文(レポート)40%程度、提出物・授業への取り組みの積極性等20%程度で評価する。				
授業内容				
1. 初回ガイダンス	16. 『土佐日記』			
2. イン트로ダクション	17. 『蜻蛉日記』			
3. 『古事記』『風土記』	18. 『宇治拾遺物語』『今昔物語集』			
4. 『万葉集』	19. 『平家物語』			
5. 『竹取物語』	20. 『方丈記』			
6. 『伊勢物語』①	21. 『徒然草』①			
7. 『伊勢物語』②	22. 『徒然草』②			
8. 『枕草子』	23. 井原西鶴の浮世草子			
9. 『古今和歌集』	24. 松尾芭蕉の俳諧・俳文			
10. 『落窪物語』	25. 与謝蕪村の俳諧・俳文			
11. 『源氏物語』①	26. 小林一茶の俳諧・俳文			
12. 『源氏物語』②	27. 上田秋成の読本			
13. 古典芸能鑑賞①	28. 川柳・狂歌			
14. 古典芸能鑑賞②	29. 古典芸能鑑賞③			
15. 小論文・レポートの書き方	30. 総括			
【発表・小論文(レポート)・提出物について】				
◆発表: 作品や作家についてのプレゼンテーション。2人1組で担当する作品や作者、その時代背景などについて調べたことをパワーポイント等を用いて20分間(うち質疑応答5分)のプレゼンテーションを行う。作品・作者・時代背景に関する概要を示すとともに、現代的視点からその作品の魅力を指摘すること。				
◆小論文: 各自、授業で扱った作品を読み、先行研究をふまえながら調査・分析した上で、自分の考えを1600字程度にまとめる。前期・後期各1本、計2本を提出する。				
◆提出物: 毎回、プレゼンテーションに関する「記録シート」を記入・提出する。 また、適宜、その他の提出物や確認小テスト、リアクションペーパーを配布・回収することもある。				
キーワード	日本古典文学、文学史、感性、現代性、論理性、プレゼンテーション			
教科書	適宜、教材資料(プリント)を配布する。			
参考書	鈴木健一編『千年の百冊 あらすじと現代語訳でよむ 日本の古典100冊スーパーガイド』(小学館、2013) その他、授業時に適宜紹介する。			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	国語			
現学年の関連科目	なし			
次年度以降の関連科目	なし			
連絡事項				
これからの人生で日本の古典作品を本気で読むという機会はないかもしれない、という気持ちで作品と向き合ってください。ただし、古典だからと気構えたり小難しく考えたりする必要はありません。それぞれの作品をまずは無心で読んでみましょう。現代人の皆さんにとっての「?」「!」をたくさん見つけて、それを発表や小論文を通じて自分なりに表現してください。授業に出席するのはもちろんのこと、皆さんの積極的な参加に期待しています。なお、課題(提出物)の提出の有無は評価に関わりますので、十分に注意すること。				
シラバス作成年月日	平成28年2月25日作成			